

① 基本事項

事業名	福祉委員設置事業			科目	3	1	1	課名	民生課
								健康福祉係	
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略					
基本目標	誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり			全項目					
施策	いきいきライフの推進								
事業の目的	民生委員と兼ねて福祉委員を委嘱し、担当地区の高齢者、生活困窮者等の状況把握や相談を行い社会福祉の増進を図る。			事業の目標	高齢者・生活弱者の支援 高齢者・生活弱者相談地域別窓口の設置				
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率		
○	福祉委員による活動(民生児童委員21人)			式	1	1	100%		
◎	高齢者・生活弱者による相談			人	100	171	171%		
○	高齢者・生活弱者による訪問			回	1,000	1,053	105%		
○	高齢者・生活弱者への制度等の紹介と実施			回	2	2	100%		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績			
概算事業費	事業費		3,389千円		3,381千円		
	概算正規職員人件費	0.4人	2,600千円	0.4人	2,600千円		
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円		
	概算人件費計	0.4人	2,600千円	0.4人	2,600千円		
	合計		5,989千円		5,981千円		
		正規職員人件費単価	6,500千円	臨時・嘱託人件費単価	1,500千円		
財源内訳	国・県支出金	40.4%	1,368千円	40.5%	1,368千円		
	起債	0.0%		0.0%	千円		
	一般財源	59.6%	2,021千円	59.5%	2,013千円		
	特財	0.0%	千円	0.0%	千円		
	合計	100.0%	3,389千円	100.0%	3,381千円		

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大		C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない	
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる		D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可	
	H29	評価の根拠・説明・考察				
担当	B	認知症、生活困窮、虐待、引きこもりなど様々なケースが出てきており、行政や社協が全て見れるわけではなく、住民に身近な民生委員との連携体制は必要				
評価委員評価	公共性	B	地域や関係者の協力と個人のプライバシー保護のバランスが課題。協力を得るには基本ルールの具体的提案が必要。			
	公平性	B				
	有効性	B				
	効率性	B				
	総合	B				

① 基本事項

事業名	雪害救助員派遣事業		科目	3	1	1	課名	民生課
							係名	健康福祉係
	第6次総合振興計画		まち・ひと・しごと創生 総合戦略					
基本目標	誰でもが健康で仲良く暮らせる村づくり		全項目					
施策	いきいきライフの推進							
事業の目的	対象者へ雪害救助員を派遣し、冬期間の住宅環境を守るための支援を行う		事業の目標	雪害による高齢者等の住宅損壊 0件				
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率	
○	雪害救助員の派遣(認定10件の内、派遣8件 延べ75時間)			戸	10	8	80%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績			
概算事業費	事業費		324千円		192千円		
	概算正規職員人件費	0.1人	650千円	0.1人	650千円		
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円		
	概算人件費計	0.1人	650千円	0.1人	650千円		
	合計		974千円		842千円		
正規職員人件費単価			6,500千円	臨時・嘱託人件費単価		1,500千円	
財源内訳	国・県支出金	31.5%	102千円	31.8%	61千円		
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円		
	一般財源	68.5%	222千円	68.2%	131千円		
	特財	0.0%	千円	0.0%	千円		
	合計	100.0%	324千円	100.0%	192千円		

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	B	独居高齢者等には必要な制度であるが、雪下ろし以外にも雪かきボランティア等生活に近いところでの支援は必要。		
評価委員評価	公共性	B	現状の把握と制度見直しによる事業拡大の検討が必要。	
	公平性	B		
	有効性	B		
	効率性	B		
	総合	B		

① 基本事項

事業名	婚活支援事業		科目	3	款	1	項	1	目	課名	民生課
										係名	健康福祉係
	第6次総合振興計画				まち・ひと・しごと創生 総合戦略						
基本目標	全項目		婚活支援								
施策			相談体制の確立と出会いの機会を創出								
事業の目的	村内在住独身男女へ、出会いの機会や各種情報を提供し、結婚を推進を図る				事業の目標	成婚組数 1組 婚活イベント参加者数 延べ50人 相談者数 10人					
区分	具体的な事務事業の内容				単位	計画	実績	執行率			
○	婚活イベントの開催(村内参加者:村コン長野11人、雪コン3人 計14人)				回	3	3	100%			
○	ながの結婚マッチングシステムへの登録者数				人	10	2	20%			
○	相談窓口の開設				箇所	2	1	50%			
									#DIV/0!		
									#DIV/0!		
									#DIV/0!		
									#DIV/0!		
									#DIV/0!		

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績			
概算事業費	事業費		534千円		427千円		
	概算正規職員人件費	0.2人	1,300千円	0.2人	1,300千円		
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円		
	概算人件費計	0.2人	1,300千円	0.2人	1,300千円		
	合計		1,834千円		1,727千円		
		正規職員人件費単価		臨時・嘱託人件費単価			
		6,500千円		1,500千円			
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円		
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円		
	一般財源	100.0%	534千円	100.0%	427千円		
	特財	0.0%	千円	0.0%	千円		
	合計	100.0%	534千円	100.0%	427千円		

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大		C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない	
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる		D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可	
	H29	評価の根拠・説明・考察				
担当	B	成果が測りにくくイベントとしての効果には疑問であるが、セミナーやマッチングシステムの活用することで結婚に消極的だった者を支援することは可能であると考えます。				
評価委員評価	公共性	B	より多くの村民参加が得られるよう内容の検討改善と地道な継続活動が必要。			
	公平性	B				
	有効性	B				
	効率性	B				
	総合	B				

① 基本事項

事業名	福祉活動専門員設置補助事業			科目	3	1	1	課名	民生課
								係名	健康福祉係
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略					
基本目標	誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり			全項目					
施策	いきいきライフの推進								
事業の目的	福祉活動専門員設置を福祉活動を計画的かつ積極的に実施し、地域住民の福祉の向上を目指す。			事業の目標	福祉活動の実践 10事業 新規福祉活動の実施 地区別福祉活動の推進				
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率		
○	福祉活動の実践			事業	10	10	100%		
○	新規福祉活動の実施			回	1	2	200%		
○	福祉活動のPR			回	3	3	100%		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績			
概算事業費	事業費		3,600千円		3,600千円		
	概算正規職員人件費	0.6人	3,900千円	0.6人	3,900千円		
	概算嘱託・臨時人件費	0.1人	150千円	0.0人	千円		
	概算人件費計	0.7人	4,050千円	0.6人	3,900千円		
	合計		7,650千円		7,500千円		
	正規職員人件費単価		6,500千円	臨時・嘱託人件費単価		1,500千円	
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円		
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円		
	一般財源	100.0%	3,600千円	100.0%	3,600千円		
	特財	0.0%	千円	0.0%	千円		
	合計	100.0%	3,600千円	100.0%	3,600千円		

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	A	認知症や生活困窮者の金銭管理で支援するために専門員の設置は必要である。就労支援、生活資金貸付でマイサポとの連絡もスムーズに進めることができる。		
評価委員評価	公共性	A	専門員の設置が目的となり兼ねないので関係機関と連携し、きめ細かな対応による住民福祉の増進に努めることが重要。	
	公平性	B		
	有効性	B		
	効率性	B		
	総合	B		

平成	29	年度	事務事業評価シート	計画	中間	実績	事業番号	16
----	----	----	-----------	----	----	----	------	----

① 基本事項

事業名	サロン運営補助事業			科目	3	款	1	項目	2	課名	民生課
										係名	健康福祉係
	第6次総合振興計画				まち・ひと・しごと創生 総合戦略						
基本目標	誰でもが健康で仲良く暮らせる村づくり				全項目						
施策	いきいきライフの推進										
事業の目的	高齢者が自主的に運営するサロンを支援することにより、高齢者が健康で生き生きとした生活を送る。				事業の目標	サロンの開設及び運営 2箇所 サロン利用述べ高齢者数 500人/年・箇所					
区分	具体的な事務事業の内容				単位	計画	実績	執行率			
○	サロン運営支援 (夢ひろば、里山の家、浄蓮寺、宣勝寺、原大沢)				箇所	2	5	250%			
								#DIV/0!			
								#DIV/0!			
								#DIV/0!			
								#DIV/0!			
								#DIV/0!			
								#DIV/0!			
								#DIV/0!			

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績					
概算事業費	事業費		200千円		38千円				
	概算正規職員人件費	0.2人	1,300千円	0.1人	650千円				
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円				
	概算人件費計	0.2人	1,300千円	0.1人	650千円				
	合計		1,500千円		688千円				
		正規職員人件費単価		6,500千円		臨時・嘱託人件費単価		1,500千円	
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円				
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円				
	一般財源	100.0%	200千円	100.0%	38千円				
	特財	0.0%	千円	0.0%	千円				
	合計	100.0%	200千円	100.0%	38千円				

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	A	ボランティアの力を活用し介護予防、高齢者の見守りに役立っている。		
評価委員評価	公共性	B	一部地域では効果が出ているが、他地域での実施が不透明。運営者の拡大による活動の活性化が望まれる。	
	公平性	B		
	有効性	B		
	効率性	B		
	総合	B		

平成	29	年度	事務事業評価シート	計画	中間	実績	事業番号	17
----	----	----	-----------	----	----	----	------	----

① 基本事項

事業名	独居高齢者世帯等緊急通報装置管理事業			科目	3	1	2	課名	民生課
								係名	健康福祉係
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略					
基本目標	誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり			全項目					
施策	いきいきライフの推進								
事業の目的	独居高齢者の孤独死を未然に防ぐため、対象住居へ緊急装置を設置管理する			事業の目標	独居高齢者の孤独死者数 0人				
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率		
○	親族との連携協議			式	1	1	100%		
○	緊急通報装置の適切な管理(36件)			式	1	1	100%		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績			
概算事業費	事業費		349千円		322千円		
	概算正規職員人件費	0.1人	650千円	0.1人	650千円		
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円		
	概算人件費計	0.1人	650千円	0.1人	650千円		
	合計		999千円		972千円		
		正規職員人件費単価	6,500千円	臨時・嘱託人件費単価	1,500千円		
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円		
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円		
	一般財源	100.0%	349千円	100.0%	322千円		
	特財	0.0%	千円	0.0%	千円		
	合計	100.0%	349千円	100.0%	322千円		

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大		C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない	
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる		D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可	
	H29	評価の根拠・説明・考察				
担当	B	村の所有する機器の貸し出し、孤独死を未然に防いでいる。				
評価委員評価	公共性	B	機器の貸し出しが実績とならないよう注意する。具体的な効果検証につながる指標が必要。			
	公平性	B				
	有効性	B				
	効率性	B				
	総合	B				

① 基本事項

事業名	高齢者及び障がい者デマンドバス利用助成事業			科目	3	1	2	課名	民生課
								係名	健康福祉係
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略					
基本目標	誰でもが健康で仲良く暮らせる村づくり			移住定住の促進					
施策	いきいきライフの推進			地域公共交通の充実					
事業の目的	高齢者や障がい者デマンドバスの利用補助をすることにより日常生活における移動を支援し、生き生きとした生活ができる地域環境をつくとともに、高齢者による交通事故を削減する。			事業の目標	対象者の移動支援 高齢者の交通事故 前年比-5% 実質利用者数 前年比+10% 実質利用者数 300人				
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率		
○	デマンドバス利用助成(計画値は前年実績)			人	2,979	3,263	109.5%		
○	デマンドバス利用対象者(計画値は前年実績)			人	262	301	114.9%		
○	高齢者デマンドバス利用実態調査			回	1	1	100%		
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績			
概算事業費	事業費		430千円		423千円		
	概算正規職員人件費	0.2人	1,300千円	0.2人	1,300千円		
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円		
	概算人件費計	0.2人	1,300千円	0.2人	1,300千円		
	合計		1,730千円		1,723千円		
		正規職員人件費単価	6,500千円	臨時・嘱託人件費単価	1,500千円		
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円		
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円		
	一般財源	100.0%	430千円	100.0%	423千円		
	特財	0.0%	千円	0.0%	千円		
	合計	100.0%	430千円	100.0%	423千円		

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	A	利用実績も増え高齢者・障がい者の交通手段として欠かせないものとなっている。		
評価委員評価	公共性	A	高齢者等の交通確保と運転による事故防止、デマンド交通の利用者増にもつながっているため効果的と考える。関係部署と連携し、より効果的な事業となるよう進められたい。	
	公平性	A		
	有効性	A		
	効率性	A		
	総合	A		

平成	29	年度	事務事業評価シート	計画	中間	実績	事業番号	19
----	----	----	-----------	----	----	----	------	----

① 基本事項

事業名	高齢者健康増進事業			科目	3	款	1	項目	2	課名	民生課
										係名	健康福祉係
	第6次総合振興計画				まち・ひと・しごと創生 総合戦略						
基本目標	誰でもが健康で仲良く暮らせる村づくり				移住定住の促進						
施策	いきいきライフの推進				地域公共交通の充実						
事業の目的	高齢者の健康増進を推進するため、馬曲温泉を利用しやすいよう、移動支援を行う				事業の目標	いきいきバス利用者数 600人/年					
区分	具体的な事務事業の内容				単位	計画	実績	執行率			
○	いきいきバス運行回数(計画値は前年実績)				回	78	75	96%			
○	いきいきバス利用者数				人	600	451	75%			
								#DIV/0!			
								#DIV/0!			
								#DIV/0!			
								#DIV/0!			
								#DIV/0!			
								#DIV/0!			

※ 区分 ○:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績			
概算事業費	事業費		303千円		276千円		
	概算正規職員人件費	0.1人	650千円	0.1人	650千円		
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円		
	概算人件費計	0.1人	650千円	0.1人	650千円		
	合計		953千円		926千円		
正規職員人件費単価		6,500千円		臨時・嘱託人件費単価		1,500千円	
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円		
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円		
	一般財源	100.0%	303千円	100.0%	276千円		
	特財	0.0%	千円	0.0%	千円		
	合計	100.0%	303千円	100.0%	276千円		

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	B	年々利用者数は減少傾向にあるが、貴重な高齢者の交流の場となっている。		
評価委員評価	公共性	B	利用者減少の要因を把握し、費用対効果の高い事業となるよう検討が必要。	
	公平性	B		
	有効性	B		
	効率性	C		
	総合	B		

平成	29	年度	事務事業評価シート	計画	中間	実績	事業番号	20
----	----	----	-----------	----	----	----	------	----

① 基本事項

事業名	健康アカデミー推進事業			科目	4	項目	1	1	課名	民生課
									係名	健康福祉係
	第6次総合振興計画				まち・ひと・しごと創生 総合戦略					
基本目標	誰でもが健康で仲良く暮らせる村づくり				全項目					
施策	いきいきライフの推進									
事業の目的	健康セミナーを開催し、年間を通じて健康づくりと仲間作りの場を提供することにより、参加者の健康づくりの意識高揚と、セミナー体験者の継続的かつ自主的取組を進める				事業の目標	セミナー参加者数 20人 自主的な取り組み者の増 ノルディックウォーキング教室参加者数増				
区分	具体的な事務事業の内容				単位	計画	実績	執行率		
○	健康セミナーの開催(参加者5人)				回	12	8	67%		
○	ノルディックウォーキング教室開催				回	10	6	60%		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績			
概算事業費	事業費		1,137千円		949千円		
	概算正規職員人件費	0.1人	650千円	0.1人	650千円		
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円		
	概算人件費計	0.1人	650千円	0.1人	650千円		
	合計		1,787千円		1,599千円		
正規職員人件費単価			6,500千円	臨時・嘱託人件費単価		1,500千円	
財源内訳	国・県支出金	37.5%	426千円	44.9%	426千円		
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円		
	一般財源	60.2%	685千円	52.7%	500千円		
	特財 <small>実習材料個人負担金</small>	2.3%	26千円	2.4%	23千円		
	合計	100.0%	1,137千円	100.0%	949千円		

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大		C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない	
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる		D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可	
	H29	評価の根拠・説明・考察				
担当	C	事業のマンネリ化もあり参加者の減少している。特定保健指導と結びつきが薄くなってきている。改善に向けて検討を要する。				
評価委員評価	公共性	B	参加者等の意見を参考にしながら事業内容等の改善が必要。健康づくりへの意識高揚が図れる事業とされたい。			
	公平性	C				
	有効性	C				
	効率性	C				
	総合	C				

平成	29	年度	事務事業評価シート	計画	中間	実績	事業番号	21
----	----	----	-----------	----	----	----	------	----

① 基本事項

事業名	母子保健事業			科目	4	項目	1 2	課名	民生課
								係名	健康福祉係
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略					
基本目標	誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり			子宝支援の充実					
施策	いきいきライフの推進			妊娠・出産サポートの充実／子育て支援体制の充実					
事業の目的	妊婦や乳幼児の健診等の支援や不妊治療費等の助成により、子づくり・子育て環境の充実し、安心して出産できる村づくりを推進する			事業の目標	合計特殊出生率 1.5 年間出生者数 30人以上 研修会等への参加者数 20人以上				
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率		
○	乳幼児健診(延べ222人)			回	12	12	100%		
○	妊婦健診			人	30	30	100%		
○	パパママ教室(4人参加)			回	2	2	100%		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績	
概算事業費	事業費		5,784千円		3,608千円
	概算正規職員人件費	0.2人	1,300千円	0.2人	1,300千円
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円
	概算人件費計	0.2人	1,300千円	0.2人	1,300千円
	合計		7,084千円		4,908千円
正規職員人件費単価			6,500千円	臨時・嘱託人件費単価	1,500千円
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円
	一般財源	100.0%	5,784千円	100.0%	3,608千円
	特財	0.0%	千円	0.0%	千円
	合計	100.0%	5,784千円	100.0%	3,608千円

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	A	目標どおり実施している。		
評価委員評価	公共性	A	計画どおり実施することが目的とならないよう注意。	
	公平性	A		
	有効性	A		
	効率性	A		
	総合	A		

① 基本事項

事業名	不妊治療費助成事業			科目	4	項目	1	2	課名	民生課	
									係名	健康福祉係	
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略							
基本目標	誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり			子宝支援の充実							
施策	いきいきライフの推進			妊娠・出産サポートの充実							
事業の目的	治療費の一部を助成することにより、不妊・不育で悩む多くの女性が治療に取り組むことができる村づくりを推進する			事業の目標	合計特殊出生率 1.5 年間出生者数 30人以上 研修会等への参加者数 20人以上						
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率				
○	不妊治療費助成申請者数			人	2	2	100%				
○	不育治療費助成申請者数			人	1	0	0%				
							#DIV/0!				
							#DIV/0!				
							#DIV/0!				
							#DIV/0!				
							#DIV/0!				
							#DIV/0!				

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績			
概算事業費	事業費		900千円		320千円		
	概算正規職員人件費	0.2人	1,300千円	0.1人	650千円		
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円		
	概算人件費計	0.2人	1,300千円	0.1人	650千円		
	合計		2,200千円		970千円		
正規職員人件費単価			6,500千円	臨時・嘱託人件費単価			1,500千円
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円		
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円		
	一般財源	100.0%	900千円	100.0%	320千円		
	特財	0.0%	千円	0.0%	千円		
	合計	100.0%	900千円	100.0%	320千円		

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	B	不妊不育に悩む夫婦にとっては貴重な補助制度となっている。治療の効果も出ているのでPRが必要である。		
評価委員評価	公共性	A	デリケートな事業であるため、一概に実績効果ではかれないが、事業PRによる継続実施は必要。	
	公平性	A		
	有効性	A		
	効率性	A		
	総合	A		

平成	29	年度	事務事業評価シート	計画	中間	実績	事業番号	23
----	----	----	-----------	----	----	----	------	----

① 基本事項

事業名	予防事業			科目	4	1	3	課名	民生課
								係名	健康福祉係
	第6次総合振興計画				まち・ひと・しごと創生 総合戦略				
基本目標	誰でもが健康で仲良く暮らせる村づくり				子宝支援の充実				
施策	いきいきライフの推進				子育て支援体制の充実				
事業の目的	子供や高齢者の予防接種を支援することにより、地域全体の健康増進を進めるとともに、子育て環境と高齢者福祉の充実を図る			事業の目標	保育園・小中学校学級閉鎖数 0 高齢者対象病による死亡者数前年比-10%				
区分	具体的な事務事業の内容				単位	計画	実績	執行率	
○	研修会等の開催				回	2	1	50%	
○	対象者の予防接種の実施				式	1	1	100%	
○	予防接種の周知と実施の徹底				回	4	4	100%	
○	高齢者の予防接種人数(インフルエンザ・肺炎球菌)計画値は前年実績				人	1,407	1,380	98.1%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績			
概算事業費	事業費		16,128千円		13,806千円		
	概算正規職員人件費	0.3人	1,950千円	0.3人	1,950千円		
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円		
	概算人件費計	0.3人	1,950千円	0.3人	1,950千円		
	合計		18,078千円		15,756千円		
	正規職員人件費単価		6,500千円	臨時・嘱託人件費単価		1,500千円	
財源内訳	国・県支出金	16.6%	2,684千円	19.4%	2,682千円		
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円		
	一般財源	83.4%	13,444千円	80.6%	11,124千円		
	特財	0.0%	千円	0.0%	千円		
	合計	100.0%	16,128千円	100.0%	13,806千円		

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	B	定期接種については実施済み。子どもの数が少なくなり集団接種がいいのか個別接種がいいのか検討していく。		
評価委員評価	公共性	A	村民の健康増進につながっている。予防接種の助成がメインとならないよう注意し、特に高齢者の接種を促す取り組みも必要。	
	公平性	A		
	有効性	B		
	効率性	A		
	総合	A		

① 基本事項

事業名	健康管理検診事業 ⇒ 健康管理推進事業			科目	款	項	目	課名	民生課
					4	1	5	係名	健康福祉係
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略					
基本目標	誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり			全項目					
施策	いきいきライフの推進								
事業の目的	地域住民だれもが健康で暮らせる村づくりをすすめるため、若年層での健康管理検診受診を推進・支援するとともに、村独自検診を実施する			事業の目標	国保会計医療費の削減 前年比-5% 受診者数増				
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率		
○	39歳～19歳の健診管理検診推進			式	1	1	100%		
○	健康管理検診(特定健診)推進PR			回	3	1	33%		
○	健診受診啓発			回	3	3	100%		
○	若者健診(20～39歳) 計画値は前年実績			人	89	82	92%		
○	特定健診(国保 40～74歳) 計画値は前年実績			人	459	432	94%		
○	後期高齢者(74歳～) 計画値は前年実績			人	170	141	83%		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		

※ 区分 ○:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績	
概算事業費	事業費		1,134千円		1,039千円
	概算正規職員人件費	0.3人	1,950千円	0.3人	1,950千円
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円
	概算人件費計	0.3人	1,950千円	0.3人	1,950千円
	合計		3,084千円		2,989千円
		正規職員人件費単価		6,500千円	臨時・嘱託人件費単価
財源内訳	国・県支出金	3.4%	38千円	4.7%	49千円
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円
	一般財源	96.6%	1,096千円	95.3%	990千円
	特財	0.0%	千円	0.0%	千円
	合計	100.0%	1,134千円	100.0%	1,039千円

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	B	データヘルス計画に則り、受診率の向上が求められる。		
評価委員評価	公共性	B	効果向上の具体的な指標があると望ましい。受診率を高めるための取り組みを一層強化されたい。	
	公平性	B		
	有効性	B		
	効率性	B		
	総合	B		

平成	29	年度	事務事業評価シート	計画	中間	実績	事業番号	25
----	----	----	-----------	----	----	----	------	----

① 基本事項

事業名	精神保健事業			科目	4	項目	16	課名	民生課
								係名	健康福祉係
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略					
基本目標	誰でもが健康で仲良く暮らせる村づくり			全項目					
施策	いきいきライフの推進								
事業の目的	精神障害者等の居場所づくりによる引きこもり防止を図るとともに、障害者の健康維持を図る			事業の目標	持続可能な居場所づくり 1箇所 障害者の健康維持				
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率		
○	家族会支援			式	1	1	100%		
○	憩いの家フレンズ運営(登録者24人 延べ利用者253人、実利用者14人)			式	1	1	100%		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績			
概算事業費	事業費		2,211千円		2,112千円		
	概算正規職員人件費	0.2人	1,300千円	0.2人	1,300千円		
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円		
	概算人件費計	0.2人	1,300千円	0.2人	1,300千円		
	合計		3,511千円		3,412千円		
	正規職員人件費単価		6,500千円	臨時・嘱託人件費単価		1,500千円	
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円		
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円		
	一般財源	100.0%	2,211千円	100.0%	2,112千円		
	特財	0.0%	千円	0.0%	千円		
	合計	100.0%	2,211千円	100.0%	2,112千円		

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	C	フレンズについては一定の利用はあるものの利用者は少ない。引きこもりなど対象を広げ用途を検討したい。		
評価委員評価	公共性	C	一定の利用に偏るのではなく施設の有効利用も検討し、住民サービスの向上に努められたい。	
	公平性	C		
	有効性	B		
	効率性	C		
	総合	C		